

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	議会	-	2	広報・会議録作成発行事務				☐ 法定受託事務
所管課	議会事務局 議会総務課				評価者	議会総務課長 岩原 徹		
一般	会計	款	5	項	5	目	5	
総合計画上の位置付け	分野名	市民自治			施策の方針名		市民自治	

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市議会の正確な記録を残し、開かれた議会を目指す。
効果	市議会に対する市民の理解と関心が高まる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	議会だより印刷製本・配布業務 議会報告会開催	議会だより印刷製本・配布業務 議会報告会開催	議会だより印刷製本・配布業務 議会報告会開催
予算額（千円）	8,824	8,436	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	8,824	8,436	0
当初人員配置数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	4,959	5,156	0
事業実績	議会だより作成・配布 議会報告会開催		
決算額（千円）	6,244		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	6,244	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	4,832	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	議会報告会の実施回数		回	1回以上	7	1	
活1	実績につながる活動	議会報告会の開催について、議会だより・広報かまくらへの記事掲載、チラシの作成配付、議会ホームページへの掲載等で周知を図る。				94		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	令和7年度に議会報告会の開催方法を見直し、それまでの会議室等での対面及びオンラインでの開催方法から、多くの人が集まるイベント会場に出向き、議会報告会のブースを出展して開催する方法に変更したが、参加者からは概ね好評であった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	議会報告会の参加者数	人	25	7	30			1
成2	議会報告会参加者の満足度（アンケート調査で満足の割合が5段階評価で4以上）	%	60.0	7	87.5			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	前回よりも参加者数及び満足度が向上したことから、市議会への関心の喚起を図ることができたと捉えている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	開催方法を見直すことにより、前回よりも参加者数及び満足度が向上した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	解決	開催方法を見直すことで、参加者数を増やすことができた。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	議会報告会をととして、議会が市民に親しみやすくなるよう、開かれた議会を目指す。引き続き、開催方法については、議会広報委員会で協議していく。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	議会報告会の実施（年間実施回数）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	南足柄市			
他市実績	1回以上	1回以上	動画配信で実施	未実施	未実施	2回実施			
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	議会報告会は、各市議会の考えにもとづき、開催の可否も含めて実施している。								